令和6年度 学校便り
September
9月
9月24日発行

つばき

笑顔いっぱい 感動いっぱい 夢がふくらむ
～ウミネコと カノコユリと 恐竜の里～

薩摩川内市立鹿島小学校
電話　09969－4－2004

学力向上を目指して

校長　中薗（なかぞの）　千寿（ちず）

２学期は実りの秋と言われるように、子どもたちは１年の中で心身ともに最も成長する時期です。職員研修で、１学期に６年生に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、今後の学力向上に向けての学校全体での取組を考察しました。

【国語】

・　文中において漢字を正しく使えない、また文中における主語と述語の関係を捉えることができていないという課題が見られたので、定期的な小テストで定着を図ったり、タブレットドリルを活用して過去の問題に取り組ませたりします。

・　物語文において登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉えることができていないので、初見文の問題に取り組ませたり学年の発達段階に応じた内容の読書に取り組ませたりしていきます。

・　記述式の問題で、示された条件を満たして書くことができていないので、授業や家庭学習の中で条件（時間・条件・字数）を示して自分の考えを書く問題に慣れさせていくようにします。

【算数】

・　問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができない子どもがいるので、長文の問題では内容を絵や図にかいたり、分かっている数値に印をつけたりするようにして文意を正しく理解できるように指導していきます。

・　図形についての知識及び性質を繰り返し復習し、具体物や実物を操作するなど体験や実感を伴う学習を通して理解を促す活動を取り入れます。

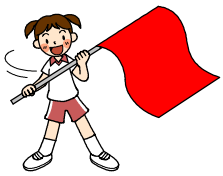
【質問紙】

児童質問紙の中に「自分にはよいところがあると思いますか」という問いがあります。これは「自己肯定感」に関する問いです。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた子どもの割合は、鹿児島県や全国の子どもたちより下回っていました。自己肯定感を高めるには「褒める」前に「認める」ことが必要です。「なるほどね、そう思ったんだ」「へえ、よく気が付いたね」などと子どもたちを「認める」場面を意図的につくり、また、いい面を積極的に伝えてあげていきたいと考えています。

夏休み中のＰＴＡ愛校作業では、たくさんの保護者，里親，準会員，地域の方々に作業していただき，気持ちよく２学期を迎えることができました。暑い中、ありがとうございました。また，先日はボランティアで宮内建設さんに校庭の整備を、そして・シルバー人材センターの方に樹木の剪定などをしていただきました。おかげさまで、学校敷地内が見違えるほどきれいになりました。学校が地域の皆様に支えられていると感じることでした。本当にありがとうございました。

今月のかしまっ子

１０月の運動会に向けて頑張っている赤組団長「S.S さん」と白組応援団長「K.S さん」です。二人は自ら応援団長に立候補し、みんなをまとめています。休み時間も惜しんで応援の練習に熱心に取り組んでいます。今年はどちらが勝つのでしょうか。赤白どちらも頑張ってほしいです。そして、応援団長二人のリーダーシップにも注目です。



10月の主な行事予定

１日（火）	不審者対応避難訓練 いじめのない学校づくりの日
５日（土）	鹿島小・地域合同大運動会
７日（月）	振替休日
８日（火）	朝のあいさつ運動
１５日（火）	中期交流学習
１７日（木）	子ども会夜回り（18:20 集合）
２５日（金）	秋の一日遠足（１～４年のみ）
３１日（木）	学習発表会リハーサル

＊行事等の変更があるかもしれません。御了承ください。

薩摩川内市誕生２０周年記念

鹿島小・地域合同大運動会にお越しください！！

日時：令和６年１０月５日（土）
《８：２５ ～１１：５０》
場所：鹿島小学校　校庭

9月の行事より

授業参観・学級 PTA

少し緊張気味の子どもたちもいたようでしたが、いかがだったでしょうか。お忙しい中、たくさんの皆様にお越しいただき、ありがとうございました。学級 PTA で話し合ったことは、２学期の学級・学校経営に生かしてまいります。御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

長寿を祝う会（15日）
十五夜綱引き大会（17日）

１５日に鹿島公民館で行われた、長寿を祝う会に参加しました。子どもたちは、この日のために練習してきた２曲の歌を披露したり、肩たたきなどでふれあいの時間をとったりして交流を深めました。たくさんの高齢者の方に喜んでいただきました。

また、１７日には，子ども会主催の十五夜綱引きが行われ、輝く月に見守られながら校庭で子どもたちが（大人も）元気いっぱい綱引きを楽しみました。鹿島では、お団子ではなく、おはぎをお供えして食べる風習があります。おはぎの数は１２個、閏年は１３個供えるのだそうです。綱引きが終わった後、みんなでお供え物のお下がりをいただき、秋の収穫に感謝することでした。準備してくださった皆様，本当にありがとうございました。

今月のおすすめ本

作者の日野原さんが、１０歳だったころ、２０歳だったころ、戦争だったころなどの自身の体験をもとに、話が進みます。本の中で、「他の人のために使えた時間が一番生きてくる」という言葉が出てきます。自分のために使う時間は、もちろん大切です。けれど、自分のため以外に時間を使えた時にすばらしい喜びを見出せたなら、それはとても幸せなことかもしれないと思いました。他にも、戦争を体験している日野原さんから、今を生きるわたし達へのメッセージも書かれています。

（5･6 年担任　杉元るみ）